



日本福音主義神学会 西部部会 秋期神学研究会議当日プログラム

*Evangelical Theology, Re-evaluation :
in the Bible, Tradition and Culture*

1. 日時：2009年 11月16日（月）10:00am—5:00pm
2. 場所：関西聖書学院 (Kansai Bible Institute) <http://www.kbiwave.com/>
〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1 【Tel.0743-70-8600】
3. 主題：『“福音主義神学” 再考：聖書・伝統・文化の中で』

16世紀の「宗教改革」、その遺産を体系化した17世紀の「正統主義神学」の後、18世紀の啓蒙思潮に適應・適合の道を選んだ19世紀の「リベラルなキリスト教」の流れに対し、その反動として20世紀前半の「ファンダメンタルなキリスト教」のあり方があり、それが内包する課題の克服への取り組みとして20世紀中期からの“福音主義神学運動”が位置づけられます。

そして、20世紀末より時代が「ポストモダン」に移行する中、福音主義神学が内包する諸課題の“再考・再吟味”が必要とされており、また神学校では神学教育における新たな“鳥瞰図”、また伝道・教会形成の現場では健全な聖書解釈のための新たな“ガイドライン”が求められています。

今回は、福音派組織神学の大著、M・J・エリクソン『キリスト教神学』を訳され、長年、これに基づいて神学校で講じてこられた安黒務氏に『福音主義神学—再考』討議のための基調講演を、そして金井由嗣氏・坂井純人氏・正木牧人氏の三つの神学校の教師にそれぞれの取り組みを踏まえたレスポンスをお願いしています。そして、フロアーから宣教現場の牧師・教師・神学生等からの自由な質疑がなされます。今回の会議において“ポストモダン時代における福音主義神学のあり方”にそれぞれ方向性を見出すことができたら幸いです。

4. プログラム 司会：午前(安黒氏)・午後(市川氏)

- 9:30—10:00 受付：
- 10:00—10:30 開会礼拝：賛美・祈り・歓迎の言葉：大田裕作氏（関西聖書学院）
- 10:30—12:00 基調講演『福音主義神学—再考』：安黒務氏（関西聖書学院）
- 12:00—1:00 昼食（近くに食堂はありません。各自ご持参ください。昼食時に、西部部会の理事会を開催しますので、理事の方は別室にお集まりください。）
- 1:00—1:40 応答①：金井由嗣氏（関西聖書神学校）
- 1:40—2:20 応答②：坂井純人氏（神戸神学館・神戸改革派神学校）
- 2:30—3:10 応答③：正木牧人氏（神戸ルーテル神学校）
- 3:10—4:30 ディスカッション
- 4:30—5:00 閉会礼拝・総括：賛美・献金・総括・祈り：市川康則氏（神戸改革派神学校）

コーディネーター：市川・金井・安黒

●なお、本日の講演は、DVD講演録（DVD 約6時間：3000円、ブックレット840円、送料160円、合計4000円）として販売されます。希望者は、下記にお申し込み下さい。メールアドレス：aguro@meth.biglobe.ne.jp あるいは 090-5064-7313[あぐろ]まで。振替用紙を同封して送りますので、品物到着後、一週間以内にお振り込みください。

【 内容 】

1. 基調講演『福音主義神学：再考』アウトライン[1-2]
2. 基調講演『福音主義神学：再考』論稿：安黒務氏編著(関西聖書学院) [3-46]
 1. 「福音主義神学」とは
 2. 福音主義神学を「再考」するとは
 - ① 福音主義神学を「文化」の中で再考するとは
 - ② 福音主義神学を「伝統」の中で再考するとは
 - ③ 福音主義神学を「聖書」の中で再考するとは
 3. 福音主義神学を文化・伝統・聖書の中で再考する、ひとつの「実際例」 by Aguro in JEC & KBI
3. レスポンス①：金井由嗣氏(関西聖書神学校)[47-49]
 1. 主題講演者の取り組みに対する共感と尊敬
 2. 第一の疑問：エリクソンは到達点か、出発点か
 3. 第一の提案：T. オーデンの方法論
 4. 第二の疑問：ポスト・モダンの問いかけに対する回答は「唯一の神学」を提示することだろうか
 5. 第二の提案：福音的聖書解釈モデルの再考
4. レスポンス②：坂井純人氏(神戸神学館・神戸改革派神学校)[50-56]

はじめに：福音主義諸教会に与えられた祝福への感謝と課題の共有について

 1. 歴史神学的視座からのレスポンス＜福音主義神学を再考する意義と方法の検証＞
 2. 歴史神学と組織神学を結ぶ視点からの応答＜教理史的観点から＞
 - ① 聖書と信条と教会の相互関係：神学の規範原理を巡る問いからのレスポンス＜教理史的視座から＞
 - ② 神学的営為の自己批判機能を巡る問いからのレスポンス＜真の権威の所在と自己検証作業を問う＞
 3. エリクソン神学への評価を巡ってのレスポンス＜敬意と問いかけー最大公約数的神学の功罪？＞
 4. 要約：改革派神学の立場からの安黒先生基調講演へのレスポンス
 - ① 公会教会に仕える一つの枝としての教会の姿へのレスポンス
 - ② 多様性と個別性が真正に評価、ないし批判されるうるか＜改革派教会教義学の性格的特質からのレスポンス＞
 - ③ 終末論的観点から
5. レスポンス③：正木牧人氏(神戸ルーテル神学校)[57-69]
 1. 主題講演への感謝
 2. 歴史の捉え方

3. 福音主義の信仰告白の形成と反動
4. ルター派の信仰告白
5. 教理的相対性に立脚する福音主義陣営
6. 聖書観と信仰告白観
7. 福音主義の再考の重要性と今後の展開
6. 総括：市川康則氏(神戸改革派神学校)[70-71]

【著作権：講演者、版權：日本福音主義神学会西部部会、
編集・発行人：一宮基督教研究所 安黒務】

1 日本福音主義神学会西部部会秋期神学研究会基調講演

『福音主義神学:再考』 —文化・伝統・聖書の中で—

一宮基督教研究所(ICI)
関西聖書学院講師(KBI)
日本福音教会(JEC)山崎チャペル牧師
安黒 務
<http://www.aguro.jp/>
aguro@nth.biglobe.ne.jp

2 内容

1. 「福音主義神学」とは
2. 福音主義神学を「再考」とは
 - a. 福音主義神学を「文化」の中で再考するとは
 - b. 福音主義神学を「伝統」の中で再考するとは
 - c. 福音主義神学を「聖書」の中で再考するとは
3. 福音主義神学を文化・伝統・聖書の中で再考する、
ひとつの「実際例」 by Aguro in JEC & KBI

3 I. 「福音主義神学」とは何か

1. 「福音主義神学」への目覚め
2. エバンジェリカルとは
3. 三つの要素
4. 二千年の教会史の中に、所属教派の源流と歴史的遺産をみる
5. エリクソン著『キリスト教神学』
6. 『キリスト教神学』の歴史的・神学的背景
7. 啓蒙思潮とリベラル神学
8. リベラル神学に対する根本主義運動
- 2 9. 正統主義と根本主義
10. J.N.ダービーとディスペンセンシオナリズム
11. スコープス裁判とブライアン
12. 根本主義に対する評価
13. B.グラハムとC.ヘンリー
14. 根本主義の他界的、反主知主義的傾向
15. 新福音主義の登場
16. 知的にも、尊敬できるキリスト者の選択肢
17. “狭義”の福音主義神学としての新福音主義運動

4 II. 福音主義神学を「再考」とは

1. 聖書の御言葉によって絶えず再考され続けるべき神学
2. 現代福音派の主要潮流
3. ポスト・ファンダメンタリズム的福音主義
4. リベラリズム→ファンダメンタリズム→エバンジェリカルイズム
- 2 5. 「福音主義神学再考」の今日的取り組みの事例
6. エリクソン著作集リスト
7. 処女作と『キリスト教神学』初版→改訂版とポスト・モダニズム
8. 『キリスト教神学』「第一部 神を研究すること」

5 II-a. 福音主義神学再考の背景:文化

- 1 序.演繹的アプローチではなく、帰納的アプローチで
1. ポスト・モダニズムを定義する
1. プレ・モダニズム

- 2. モダニズム
- 3. モダニズムに対する不満
- 4. 急進的ポスト・モダニズム
- 2 2. ポストモダン時代に神学する
 - 1. 急進的なポスト・モダニズムに対する批判
 - 2. 建設的なポストモダン神学の諸原理
- 6  **Ⅱ-b. 福音主義神学再考の対象: 伝統**
 序: “広義”の福音主義神学が内包している課題
 - 1. 真正な福音主義神学の四つの特質
 - 2. 「組織神学」の四つの機能
 - 3. “特異なメンタリティ”の精査
 - 4. 『福音主義キリスト教と福音派』と『総説現代福音主義神学』
 - 5. 『キリスト教神学』序説としての『総説現代福音主義神学』
- 7  **Ⅱ-c. 福音主義神学再考の基盤: 聖書**
 - 1 1. 第一義的に聖書を基盤とし
 - 2. 構築→分解→再構築
 - 3. 『キリスト教神学』第二部啓示論
 - 1. 一般啓示
 - 1. 自然神学
 - 2. 自然神学なしでの、一般啓示の有効性
 - 3. 一般啓示の有効性と人間の責任
 - 2. 特別啓示
 - 1. 特別啓示の様式
 - 2. 特別啓示の様態
 - 3. 啓示と聖書
 - 1. 人格的と命題的
 - 2. 靈感、無誤性、権威
 - 2 2. 特別啓示
 - 1. 特別啓示の様式
 - 2. 特別啓示の様態
 - 3. 啓示と聖書
 - 1. 人格的と命題的
 - 2. 靈感、無誤性、権威
- 8  **まとめ**
 - 1 1. 福音主義神学: 再考
 - 1. 広義と狭義の「福音主義神学」
 - 2. 構築→脱構築→再構築としての「再考」
 - 1. 背景としての「文化」
 - 2. 対象としての「伝統」
 - 3. 基盤としての「聖書」
 - 2 2. 『キリスト教神学』の中にみる「福音主義神学: 再考」
 - 3. 共通項としての原則的領域と多様性としての諸教理の展開
 - 4. JEC&KBIにおける「福音主義神学: 再考」の安黒雑録